

平成17年度 第5回国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会 議事要旨(案)

1. 日時・場所：平成18年2月8日(水) 10:00～12:00

環境省第1会議室

2. 出席者：

(検討会委員)：森田委員、上野委員、高橋委員、田中委員、箱崎委員、花岡委員、平田委員、山里委員、横山(尚)委員、横山(裕)委員

(環境省)：環境保健部長、企画課長、環境リスク評価室長ほか

(オブザーバー)：茨城県、茨城県神栖市、鹿島共同再資源化センター

3. 議事概要

(1) 議題1「茨城県神栖市における地下水モニタリング(秋季)の結果について」

事務局より資料3に基づき、神栖市における地下水モニタリング結果等について報告を行った。A井戸近傍他で地下水のDPA濃度が変動しているが、これは2004年10月の多雨以降に大きく変化した地下水流に影響を受けていると考えられること、最近では地下水の流れがA地区からB地区に向かう流れに戻りつつあること、今後もモニタリングを継続していくことが報告された。検討委員より、2004年10月の多雨により、地下水流は変動しているものの、大きな汚染源は取り除いたので、その効果は徐々に見られるだろうと意見があった。

(2) 議題2「茨城県神栖市における汚染土壌等の処理について」

事務局より資料4から8に基づき、神栖市における汚染土壌等の処理について説明を行った。これまで実施した実証試験の結果を踏まえ、汚染土壌等の焼却処理について技術的な評価をいただいた。鹿島共同再資源化センターにおける汚染土壌等の本格処理に向けて、最終的な確認、評価を行うため、同センターにおいて確認試験を実施することが了承された。検討委員より実証実験結果報告の表記方法等について意見等があり、一部表現については座長一任のもと修正することとなった。

(3) その他

事務局より資料9に基づき、A事案に係る環境調査方法の改訂について、資料10に基づき毒ガス弾等に疑いが持たれる不審物等についてHPに掲載する旨の報告を行った。また、資料11に基づきDPAの健康影響等に関する調査研究について報告を行った。HPの掲載内容について、検討委員より、危険防止のための取扱や通報方法については別項目で明記するよう意見があった。